

分野	補完的な道路の整備			事業番号	86	事業名	県単道路改築		
市町村名	東御市	ふりがな 箇所名	(一)立科小諸線 <small>たてしなこもろせん</small>		みまきはらなんぶ 御牧原南部		事業年度 <small>(完了年度は見込み)</small>	H24年度～	H26年度
事業概要	計画概要 <small>(延長・幅員・面積・工種など)</small>	道路縦断線形改良工 L=280m W=5.5(7.0)m					H23年度末事業進捗率	0%	
	H24年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%	
	H24年度実施内容	測量設計、物件調査 一式					用地補償費ベース	0%	
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残			
財源内訳	事業費計(千円)	80,000	0	0	15,000	80,000			
	国庫支出金	0	0	0	0	0			
	その他								
	県債	72,000	0	0	13,500	72,000			
一般財源	8,000	0	0	1,500	8,000				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点	
	(30)	必要性	計画交通量	4,000台/日以上	1,500台以上～4,000台/日未満	1,500台未満	C	0	
			代替道路	唯一の道路である	代替となる道路がある			0	
		ネットワーク (道路網)	バス路線である		B 駅やICなどに通じるまたは 役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	A及びBに該当しない		5	
			ボトルネック箇所		ボトルネック箇所でない			4	
			観光地に通じる道路		観光地に通じる道路ではない			0	
		各事業特有の必要性(安全の確保)	4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)		4.0m以上5.5m未満(幅員)	5.5m以上(幅員)		0	
			自動車と自転車・歩行者との分離を図る		歩道はあるが不十分であるものを再整備	自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない		0	
	他事業との関連	河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施				0			
	小計						9		
(10)	重要性	設計上の環境・景観配慮	環境・景観配慮がされ確実性が高い	環境・景観配慮がされているが確実性が低い	環境・景観配慮をしていない	B	5		
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている	緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光圏整備実施計画認定地域に位置付けられている	特別な位置づけはない		0		
	小計						5		
(20)	効率性	費用対効果	B/C(3便益)1.0以上	B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が見られる)	B/C(3便益)1.0未満	A	5		
		事業効果の早期発現(H24以降事業年数)	事業年数 3年以内	事業年数 4年～5年以内	事業年数 6年以上		8		
	コスト削減	全体的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。	部分的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。	コスト削減はしていない	5				
	小計						18		
(20)	緊急性	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	交通事故や落石等の危険がない	B	6		
		各事業特有の緊急性(医療・福祉)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	医療・福祉の連携に関係ない道路		6		
	小計						12		
(20)	計画	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い	市町村からの要望	特に要望がない	A	7		
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者中心に周知	特に周知していない		5		
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	特に住民意見は反映していない	4				
	小計						16		
費用対効果(B/C)		2.0		評価の合計		B	60		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は御牧原地区の南部において立科町と小諸市及び佐久市を結ぶ路線である。当箇所の前後区間は改良済みであるが、縦断勾配が凸曲線となっており、視距が確保されていない状況である。さらに、(一)御牧原蓬田線との交差点にもあたるため、事故の発生が懸念されている。また、当路線は東御市の定時バス路線でもあり、地域住民からの要望が強く、交通の円滑化及び安全確保のため早期事業着手が望まれている。							
	地域からの要望経緯	平成23年度、県、市役所及び地元関係者により現地調査を実施、安全対策を求める強い要望がある。							
	事業説明等の経緯	東御市から要望を受けており、近隣住民へ周知されている。							
	環境・景観への配慮項目	構造物ではなく、土羽構造による緑化を図り環境へ配慮。また極力、現道を利用するルートを検討したい。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。							
特記事項	市役所と連携し、住民の意見を聞きながら計画策定していきたい。								
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他				
部意見	生活道路としての安全確保を図るため、平成24年度から事業化をしたい。			政策評価課見	ボトルネック箇所解消の必要性は認められる。				